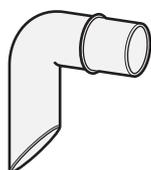
６４０幅防水パン用直下排水キット
HO-P１０ 取扱説明書

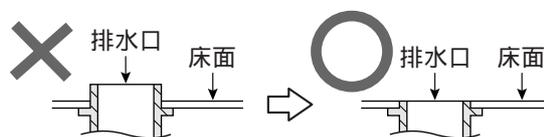
このたびは、直下排水キットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。（据付説明書もあわせてご覧ください。）
※設置作業は必ず2人で行ってください。

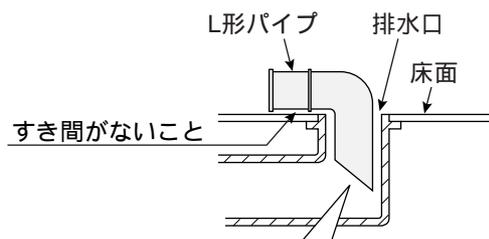
注 意	・**この直下排水キットは、６４０幅の防水パンに、本体を設置するときに使用してください。** ・**６４０幅の防水パン以外で、本体の下に排水口がある場合は、直下排水L形パイプ「HO-P５」を使用してください。**

適用機種：BW-DV8E、BW-DV9F（他の機種には使用しないでください。）

部品の種類　●次の部品がそろっているかお確かめください。

据え付け前の準備　●据え付ける前に必ず確認してください。

1 排水口が床面より突出している場合は、床面まで切断する

・突出部が切断できない場合、本部品は使用できません。

2 排水口の深さを確認する

・L形パイプの先端が排水口の底に当たる場合や、底とのすき間がない場合は、L形パイプの先端を切り取って調整してください。
(水の流れをよくするためです)

3 L形パイプと床面間にすき間がないことを確認する

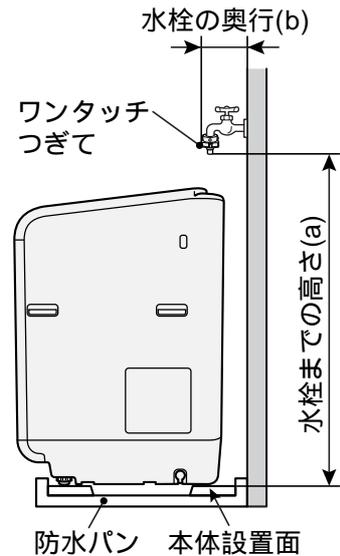
・洗濯乾燥機の部品に接触するのを防ぐためです。

据え付け場所について

■水栓の位置を確認してください。

・水栓の位置によっては、水栓に給水ホースや本体が当たるため、設置できない場合があります。
・防水パンの**本体設置面**から水栓までの高さ(a)を測定します。
・水栓にワンタッチつぎてを取り付けた状態で測定してください。

本体設置面から水栓までの高さ(a)	水栓の奥行(b)	設置可否
1260mm以上	ー	設置可能
1260mm未満 1150mm以上	120mm未満	設置可能
	120mm以上	設置できません
1150mm未満	ー	設置できません

※ふたを開閉したときに、ふたが水栓に当たらないことを必ず確認してください。

■防水パンの形状について

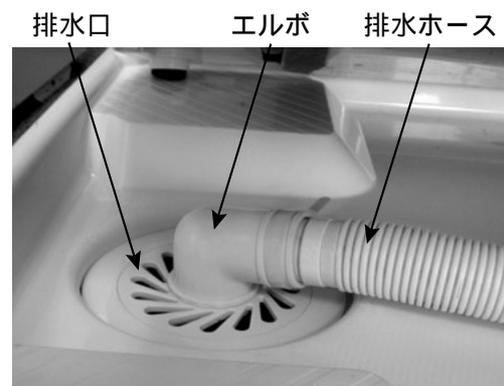
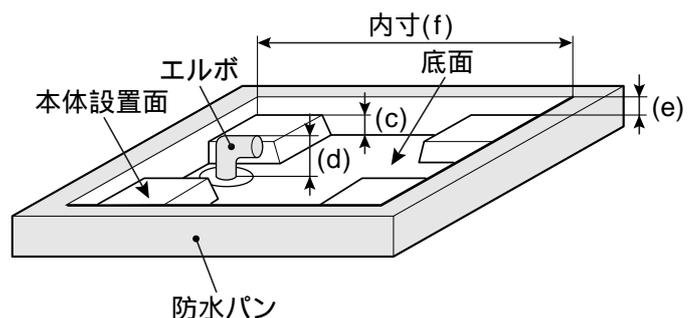
・外形640mm×640mmの防水パンで、真下に排水するときに使用できます。
・防水パンが床に固定されていることを確認してください。
防水パンが固定されていないと、振動により防水パンの破損や本体の転倒などにより、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。
・防水パンの底面から本体設置面までの高さ(c)が28mm未満の場合は、排水ホースがつぶれるため設置できません。
・防水パンの内寸によっては、設置できない場合がありますので確認してください。

設置面高さ(c)	設置可否
32mm以上	設置可能
32mm未満 28mm以上	脚キャップ使用で設置可能
28mm未満	設置できません

防水パン内寸(f)	設置面深さ(e)	設置可否
610mm以上	ー	設置可能
610mm未満 575mm以上	10mm未満	設置可能
	10mm以上 14mm未満	脚キャップ使用で設置可能
	14mm以上	設置できません
575mm未満	ー	設置できません

■排水トラップを使用する場合

エルボと設置面の段差(d)−(c)	設置方法
7mm未満	エルボ使用
7mm以上	L形パイプ使用

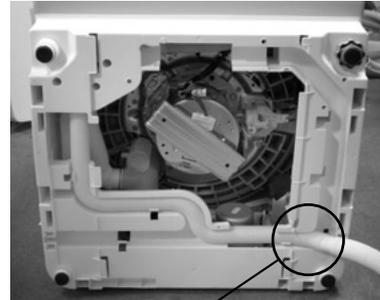
・L形パイプを使用せず、排水ホースを排水トラップのエルボに差し込んで使用してください。
・エルボの高さ(d)が本体設置面より7mm以上の場合は、エルボと本体が当たるので、エルボを排水トラップから外し、L形パイプを使用してください。
・防水パンに排水トラップが取り付けてある場合は、L形パイプが排水口に入らないことがあります。入らない場合は、設置できません。

据え付け方法　●必ず据え付け前の準備を行ってください。

排水ホースをセットする

※BW-DV9Fの場合は、「据え付け方法」①～③を、本体同梱の据付説明書P6の「2 据え付け方法」の1～3に置き換えて据え付けしてください。

1. 本体を静かに後側に倒し、排水ホースを本体右後ろまで取り外す。

・傷つき防止のため、ダンボールなどの上に静かに倒してください。

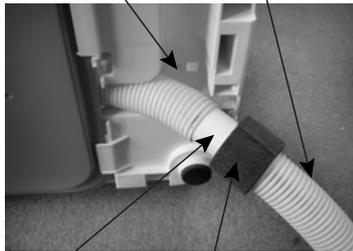
前面を上に静かに倒してください。

右後ろまで排水ホースを外す。

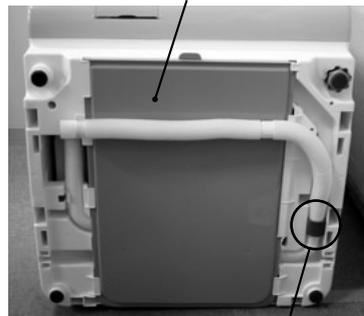
2. 排水ホースのくびれのすぐ横(ホース先端側)にパッキンを巻きつける。

・パッキンは破れやすいので、強く引っ張らないでください。

溝　排水ホース先端側

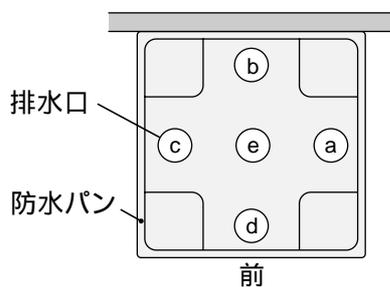
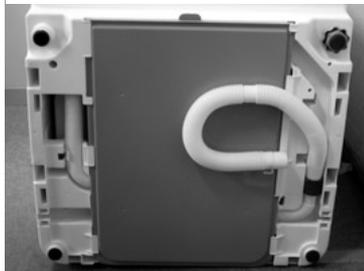
くびれ　パッキンを巻きつける。

3. パッキンを巻きつけた個所を溝にはめ込む。

4. アンダートレイを取り付ける。

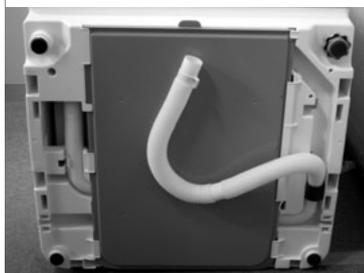
アンダートレイ

溝にはめ込む。

② 排水ホースの引き回しかたを決める

・排水口の位置に合わせて、排水ホースの引き回しかたを決めます。
・排水ホースが防水パンと本体につぶされないように調整します。

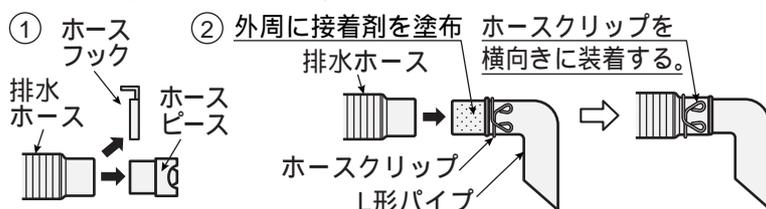
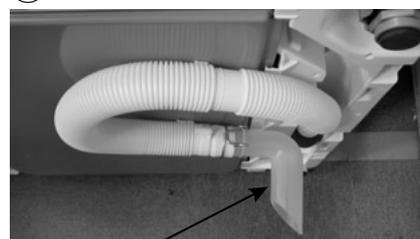
排水ホースの引き回し例

a.排水口が右側にある場合

b.排水口が後側にある場合

c.排水口が左側にある場合

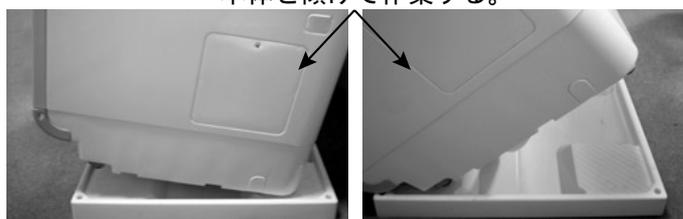
d.排水口が前側にある場合

e.排水口が中央にある場合

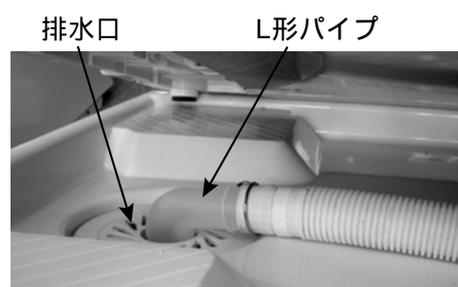
据え付け方法（続き）

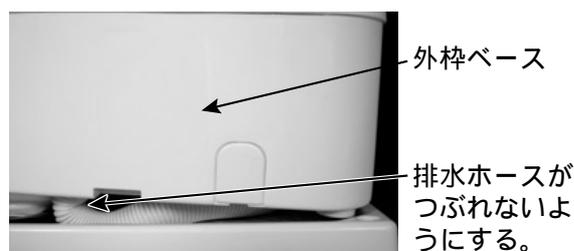
排水ホースとL形パイプを接続する

1. 排水ホースの先端についているホースピースとホースフックを外す。
2. L形パイプの外周に接着剤を塗布し接続する。
3. L形パイプの向きは、排水ホースの先端を排水口の位置に合わせたとき、L形パイプの先端が真下を向くように取り付ける。

本体を据え付ける

1. 本体を防水パンに据え付ける。
・L形パイプと排水ホースがつぶれないように注意してください。

2. 図のように本体を傾けて、L形パイプを排水口に入れる。
・L形パイプと防水パンとの間に隙間がないように入れます。
・作業は、必ずアンダートレイを取り付けた状態で行ってください。
アンダートレイを取り付けていない状態で、本体の下に手を入れると、内部の部品と接触してけがの原因となります。

本体を傾けて作業する。
後側に倒した場合

前側に倒した場合

3. 排水ホースがつぶれたり、浮き上がりがないことを確認する。
・右後方の排水ホースを引き出した位置は、排水ホースがつぶれやすいので、必ず確認してください。
・排水ホースがつぶれた状態で使用すると、排水ホースが破れて水漏れの原因となります。

外枠ベース
排水ホースがつぶれないようにする。
外枠ベースの右後方

試運転を行う

・異音や水漏れのないことを確認してください。
・試運転を行うときは、洗濯乾燥機の据付説明書をご覧ください。

ご注意
・据え付けが終わったら、必ず試運転を行い、異音、水漏れのないことを確認してください。
・排水ホースを指定部以外で切断しないでください。水漏れの原因になります。
・排水ホースを直接排水口に挿入しないでください。
排水ホースのつぶれなどにより、排水異常の原因になります。
・本体が正しく設置されていないと、振動や騒音が大きくなることがあります。
・アンダートレイは必ず取り付けてください。
アンダートレイを取り付けていないと、運転中に排水ホースが浮き上がり、他の部品と接触し、ホースが破れて水漏れするなど、思わぬ被害を招くことがあります。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111